

古文書の補修と取り扱い

目次

はじめに／3

I部 補修の基礎／13

第一章 形状／15

第一節 文書の繕い・補強強化・仕立て／15

第二節 形状の種類／18

料紙の形状／18 軸装の形状／23 冊子の形状／28 折帖の形状／33 杉材などの骨格を使う形状／35

第二章 修理用具／36

第一節 用具の選定／36

第二節 用具の説明／37

第三章 修理材料／48

第一節 修理に使う手漉和紙／48

素材／48 修理に使う手漉和紙の製造工程／49 修理に使う手漉和紙の種類と産地／49

第二節 修理に使う糊／51

新糊／51 古糊／52

第四章 修理の準備と簡略化／54

第一節 修理報告書の作成／54

- 第二節 修理の簡略化／57
- 第三節 虫喰い痕の活用／61

Ⅱ部 補修の工程／65

第一章 冊子の修理工程／67

第一節 原状／67

第二節 修理／70

裏打する本紙の解体／70 裏打和紙の準備／73 裏打する本紙の伸ばし／74 裏打和紙への糊づけ／76 糊づけした裏打和紙の本紙への移動／77 裏打／78 虫損の甚だしい本紙の裏打の準備／80 レーヨン紙の敷き方／81 レーヨン紙の水取り／82 虫損の甚だしい本紙の伸ばし／83 虫損の甚だしい本紙の裏打と乾燥／85 乾燥させた本紙の伸ばし／87 仮張への張り込みと剝がし／90

第三節 復原（製本）／92

裁ち方 その1「地の裁ち方」／92 裁ち方 その2「天の裁ち方」／96 裁ち方 その3「背の裁ち方」／97 背をくるんであった和紙の裁ち方と目打／99 本紙の綴じ方／101 背をくるむ和紙のある冊子の製本／102 製本終了／105

第二章 継紙（続紙）の修理工程／108

第一節 原状／108

第二節 修理／109

裏打する本紙の解体／109 裏打和紙の準備／112 レーヨン紙の敷き方／113 レーヨン紙の水取り／114 本紙の裏打／115 仮張への張り込み／127

第三節 復原／132

第三章 裏書のある一紙ものの修理工程／137

第一節 原状／137

第二節 中世文書の修理／140

旧裏打紙の除去／140 一回目の裏打和紙の準備／143 一回目の本紙の裏打／144 保護紙つけ／145 二回目の裏打和紙の準備／146 二回目の本紙の裏打と「窓あけ」／146 外題とラベル貼り／147 仕上げ／150 修理終了／151

第三節 写の修理／154

一紙ものをまとめる／154 修理終了／155

第四章 和製本（四つ目綴）の工程／156

第一節 和本の構造／156

第二節 和製本に必要な用具と材料／157

第三節 和製本の作業工程／158

Ⅲ部 古文書の取り扱い / 185

第一章 文書の取り扱い方 / 187

第一節 文書を取り扱う前の注意事項 / 187

第二節 文書の料紙の性質 / 189

第三節 形状による取り扱い / 190

第二章 掛軸・卷子本の巻紐の掛け方と収め方 / 195

第一節 掛軸・卷子本の取り出し方 / 195

第二節 掛軸 / 196

第三節 卷子本 / 200

第四節 太巻軸・太巻芯 / 203

第三章 箱の紐の結び方 / 204

第一節 紐の結び方の習得 / 204

第二節 紐の結び方の順序 / 204

第四章 文書の劣化と損傷の原因防止 / 207

第一節 劣化・損傷の原因の究明 / 207

第二節 劣化・損傷防止のための注意事項 / 208

おわりに / 213

監修にあたって / 216